

令和6年度 地域研修(愛知県) 地域研修カリキュラム(修正版)

(1) オンデマンド講義(LMSを利用) 視聴期間:11月11日(月)～12月8日(日) 視聴時間 受講必須:5.7時間 / 受講任意:2.1時間

基礎的な内容の単元 応用的な内容も含む単元 受講必須 受講任意

区分	単元		必須	単元の概要	時間 (目安)	講師	単元の学習目標	引用元(有明の丘) ※⇒以降は、要望等への回答
災害対応業務全般	1	防災行政概要	●	防災活動全体の流れや災害関連法の体系、防災関連計画等の概要を学ぶ。	19分	鈴木 毅 (元 内閣府)	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる。	R5 防災基礎 C1-4-1
	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	●		14分	佐々木 淳太郎 (内閣府)	・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-4-2
	3	防災計画の概要	●		15分	沖 麻未 (内閣府)	・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-4-3
地域の災害特性	4	防災気象情報の概要	◇	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	60分	加藤 弘明 (名古屋地方気象台)	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。	新規作成 ⇒承知しました
災害時の応援・受援体制	5	受援体制と受援計画の概要	●	災害時に行う応援受援に係る制度、受援体制の構築および受援計画の作成の概要を学ぶ。	15分	久保田 崇史 (内閣府)	・受援体制整備の必要性について説明できる。 ・外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる。 ・受援計画の中で整備すべき項目について説明できる。	R5 防災基礎 C1-8-1
	6	応急対策職員派遣制度等の概要	●	応急対策職員派遣制度等の概要を学ぶ。	14分	佃 侑祐 (総務省応援派遣室)	・応急対策職員派遣制度の概要について説明できる。 ・総括支援チームの役割について説明できる。 ・応援職員の力を活かすために必要な体制について説明できる。	R5 防災基礎 C1-8-2 ⇒講義資料P8に掲載アリ
	7	大規模災害時における政府の初動対応	◇	国の災害対策本部と現地組織の概要を学ぶ。	9分	小原 信宏 (内閣府)	・国の災害対策本部と現地組織の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-4-4 ⇒承知しました
	8	初動対応における国との連携	●	国における初動対応の内容とその連携のあり方について学ぶ。	27分	小原 信宏 (内閣府)	・政府の初動対応について説明できる。 ・具体的な応急対策活動に関する計画について説明できる。 ・政府と被災地方公共団体との連携について説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-2
	9	地方公共団体間の相互応援と受援体制	●	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。	39分	豊泉 英明 (内閣府)	・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-3-1-1
					7分	原 章仁 (内閣府)		R5 応急活動・資源管理 C4-3-1-2
					29分	伊藤 哲也 (総務省)		R5 応急活動・資源管理 C4-3-2
					53分	田代 崇憲 (大野城市)		R5 応急活動・資源管理 C4-3-3
物資の調達・輸送	10	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	●	救援物資の調達・輸配送の概要を学ぶ。	13分	影沼澤 稔 (内閣府)	・救援物資の調達・輸配送の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-6-4
災害廃棄物処理	11	災害廃棄物処理の概要	●	災害廃棄物処理の概要を学ぶ。	11分	鳥居 ほのか (環境省)	・災害廃棄物処理の概要について説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-2
	12	災害廃棄物処理(常総市の事例)	◇	被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学ぶ。	40分	渡邊 高之 (常総市)	・災害廃棄物処理の概要について説明できる。 ・災害廃棄物処理における資源管理と応援受援を説明できる。	R5 応急活動・資源管理 C4-4-2
被災者への支援	13	災害救助法の概要	●	災害救助法の概要を学ぶ。	17分	阿部 嘉信 (内閣府)	・災害救助法の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-6-1
	14	避難所の開設・運営の概要	●	避難所の開設・運営の基本を学ぶ。	15分	伊藤 靖晃 (元 内閣府)	・避難所の設置主体や役割を説明できる。 ・発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。 ・発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-1
	15	多様な主体による避難所運営	◇	地域の多様な主体が避難所運営に係ることの意義を学ぶ。	15分	本間 優子 (元 内閣府)	・地域の多様な主体が避難所運営に関わることの意義を説明できる。	R5 防災基礎 C1-10-1
	16	被災者支援の個別課題～広域避難～	●	被災者支援の個別課題の一つである広域避難の概要を学ぶ。	30分	小海 崇史 (新潟県)	・広域避難対応について説明できる。 ・大規模地震災害における広域避難について説明できる。 ・大規模地震災害における広域避難支援について説明できる。 ・広域避難者の支援に係る課題について説明できる。	R5 被災者支援 C5-7-1
	17	被害認定調査・罹災証明書の概要	●	被害認定調査・罹災証明書の概要を学ぶ。	6分	湯浅 翔 (内閣府)	・被害認定調査・罹災証明書の概要について説明できる。	R5 防災基礎 C1-7-3
	18	被災者生活再建支援制度の概要	●	被災者生活再建支援法と業務の概要を学ぶ。	11分	宮下 浩平 (内閣府)	・被災者生活再建支援法と業務の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-9-1
	19	生活再建支援業務	●	生活再建支援業務の全体像をふまえて、住家の被害認定調査業務・罹災証明書の発行業務の概要、被災者台帳の構築の概要、平時からの取組み事例を学ぶ。	77分	小島 健太郎 (新潟県) 辻野 満 (元 内閣府) 佐藤 和彦 (元 東京都豊島区) 田崎 貴大 (東京都豊島区) 齊藤 すわみ (元 東京都豊島区)	・生活再建支援業務の全体像について説明できる。 ・災害に係る住家の被害認定調査の概要について説明できる。 ・災害の被害認定調査の課題について説明できる。 ・罹災証明書の発行業務について説明できる。 ・罹災証明書の発行業務の実際について説明できる。 ・被災者台帳の構築について説明できる。 ・生活再建支援業務の平時からの取組～豊島区の事例～について説明できる。	R5 被災者支援 C5-8
	20	避難行動要支援者の避難支援	●	災害弱者の命を守る避難行動要支援者名簿や個別避難計画の作成を学ぶ。	16分	藤田 亮 (内閣府)	・避難行動要支援者名簿の概要を説明できる。 ・個別避難計画の概要を説明できる。	R5 防災基礎 C1-4-7

（２）リアルタイム研修(対面形式) 開催日:12月9日(月) 9:30～17:00 会場:愛知県庁三の丸庁舎 8階 大会議室

※以下は調整中の内容を含みますため、一部変更の可能性があります。

時間	単元		単元の概要	時間 (目安)	講師	学習目標
09:30 ～09:40	-	（オリエンテーション）		10分	（事務局）	
09:40 ～10:00	1	【講演＋トークセッション】※仮称 能登半島地震における被災市町村の受援 の実態と課題	能登半島地震の受援の実態と課題等を学ぶ。	20分	黒萩 正恵 前 理加 岡 真輝 (志賀町)	・受援の実態や課題が説明できる。
10:00 ～10:40			トークセッションを通じて、受援の実態と課題を深掘りして学ぶ。	40分	黒萩 正恵 前 理加 岡 真輝 (志賀町) 佐藤 和彦 (大正大学)	・受援のポイントが説明できる。
10:40 ～10:50	-	（休憩）		10分		
10:50 ～11:20	2	【講演】※仮称 能登半島地震における応援の実態と課題	能登半島地震の県および市町村の応援側の 実態と課題等を学ぶ。	30分	原 雅有 (愛知県)	・応援の実態や課題が説明できる。
11:20 ～11:50				30分	山本 裕介 (弥富市)	
11:50 ～12:50	-	（昼休み）		60分		
12:50 ～13:40	3	【講義】※仮称 受援計画策定と受援時の課題	受援計画策定時に発生した課題や策定ポイント、また策定にあたっての全庁的な取組み事例を学ぶ。	50分	佐藤 和彦 (大正大学)	・受援計画策定時の課題や策定ポイントが説明できる。 ・受援計画を全庁的な取組みを通じて策定する事例が説明できる。
13:40 ～16:00	4	【演習】※仮称 災害対応過程と受援を学ぶ	演習を通じて応援・受援の流れを学び、応援が必要な場合の人員の算出方法を学ぶ。	140分	元谷 豊 (サイエンスクラフト) 佐藤 和彦 (大正大学)	・応援要請から受援終了に至る流れと各段階の留意点が説明できる。 ・住家被害認定調査に必要な人員数の算出方法と応援要請時の留意点が説明できる。 ・平時から取り組むべき事項が説明できる。
16:00 ～16:05	-	（休憩）		5分		
16:05 ～16:55	5	【演習】 全体討論(ふりかえり)	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	50分	事務局 佐藤 和彦 (大正大学)	・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。
16:55 ～17:00	-	（閉講）		5分	（事務局）	